

10月12日(土)		
12:30	受付開始	
13:00-13:05	開会挨拶	
自由研究発表 第1セッション — 歴史 座長: _____ ()		
13:05-13:45	青木 澄夫	日本市民が撮影したオランダ領東インド
13:45-14:25	梶田 諒介 (総合地球環境学研究所・研究員)	1879-1900年の植民地期スマトラにおける24観測地点の降雨観測記録の復元
14:25-15:05	坂井 隆 (台湾大学芸術史研究所・兼任教授)	ジャワ・マレー様式モスクの形成 —アチェ、インドラブリ古モスクの構造
15:05-15:15	休憩	
【シンポジウム】 アブラヤシはインドネシアに何を提起したか？ モデレータ: 永田 淳嗣(東京大学) コメンテータ: 岩佐 和幸(高知大学) —日本の研究者・NGOの立場から考える		
15:15-17:45	プログラム委員会・ 林田 秀樹(同志社大学)	趣旨説明
	林田 秀樹 (同志社大学)	アブラヤシがもたらした「豊かさ」の維持と「偏り」の克服
	嶋村 鉄也 (愛媛大学)	熱帯泥炭湿地におけるアブラヤシ農園をめぐる環境問題と科学的知見
	寺内 大左 (東洋大学)	東カリマンタンの焼畑民はアブラヤシ農園開発をどう見たか
	飯沼 佐代子 (地球・人間環境フォーラム)	パーム油のエネルギー利用に関する日本のNGOからの働きかけ
17:50-18:20	運営委員会報告	
18:30-20:30	懇親会	

10月13日(日)		
自由研究発表 第2セッション — 生業 座長: _____ ()		
09:30-10:10	間瀬 朋子 (南山大学)	オーストラリア領海への越境という生業 —インドネシア東部ロテ島三集落の比較から
10:10-10:50	明星 つきこ (金沢大学大学院・院生)	南スラウェシにおける木造船づくりの現状 —生産体制と船大工のキャリア形成を中心に
10:50-10:55	休憩	
自由研究発表 第3セッション — 政治・経済 座長: _____ ()		
10:55-11:35	中島 百合子 (UNAIR)	東ジャワの貧困の要因分析と教育の所得向上効果
11:35-12:15	中島 健太 (南山大学・非常勤講師)	インドネシア警察のリーダーとは誰か？ —歴代国家警察長官(1945年-2019年)の経歴分析を手掛かりに
12:15-13:15	昼食休憩	
【パネル】 The Significance of Mecca for Indonesian Muslims in the 19th Century* 代表: 塩崎 悠輝(静岡県立大学)		
13:15-15:15	SHIOZAKI Yuki (University of Shizuoka)	Interactions between Ulama from Indonesia and Other Regions in Mecca*
	Zainul Milal Bizawie (Islam Nusantara Center)	Diponegoro and Indonesian Ulama Community in Mecca*
	Ahmad Ginanjar Sya'ban (Universitas Nahdlatul Ulama Indonesia)	The Significance of Jawi Literatures in Mecca*
15:15-15:25	休憩	
自由研究発表 第4セッション — 政策と社会 座長: _____ ()		
15:25-16:05	小池 誠 (桃山学院大学)	東部インドネシア・スンバ社会におけるマラブ信仰と人権をめぐる動き
16:05-16:45	金子 正徳 (人間文化研究機構)	“Yuk, Cuci Tangan Pakai Sabun!” —清潔さをめぐるインドネシアの文化変容
16:45-17:25	吉田 航太 (東京大学大学院・院生)	反政治機械=「社会」機械としてのロンバ —東ジャワ州スラバヤ市における環境コンテストと「マシヤラカット」
17:25-17:30	閉会挨拶	

* 使用言語: 英語